

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人としての運営理念及び方針に基づく実践に取り組んでいるが、事業所としての理念を作成できていない。	地域密着型事業所理念を作成する。	職員全体で、法人理念の共通認識をし、法人理念及び方針に基づき、事業所としての具体的な行動指針となる理念を作り上げる。	3ヶ月
2	2	地域での共同作業等に積極的に参加しているが、地域の方の事業所イベント参加をより受け入れる。	事業所と地域の方の双方向の交流を目指す。	地域活動に参加する機会が多くなっているため、その際事業所イベントの案内や、案内イベントの掲示を依頼する。	6ヶ月
3	8	契約の事前に、契約書を一読していただき理解・納得を図っている。しかし、内容が理解しづらい家族様もいる。	よくある質問や疑問を集め、Q&A集を作成する。	理解しづらい内容、説明しづらい内容を検討し、選定する。	6ヶ月
4	11	個々の利用者様が入居前に築かれた人間関係等が途切れないよう、外出等の支援に努めているが、それにより新しい関係づくりが遅れるのでは。	現在の新しい馴染みの関係づくりに力をいれていく。	事業所入居者様、家族様が参加する日帰り旅行の実施や、その他の地域イベント先での関係づくりを支援する。	12ヶ月
5	24	入居者様が使い慣れた家具、生活用品、装飾品など持ちこまれて居心地の良い個人空間をつくられているが、ADL低下に伴い個々の状況に合わせた安全・快適な空間づくりも必要。	居心地良く、安全で快適な居室づくりをする。	ケアプランの見直し時や、ADL変化時に、居室空間の安全性・快適性を検討し、居室空間の変更提案をする。	6ヶ月